

## 寅彦の見た風景 3

野村 学

### 【今井風山軒編】

「余ハ本町今井風山軒ニ行キ母上ノ写真ヲ取り帰り（略）」

「本町ニ至リ今井ニ行キテ昨日ノ写真ヲ更ニ五枚注文シ（略）」

（明治 29 年 3 月 31 日、4 月 1 日の日記・『寺田寅彦全集』第 18 卷 1998 年より）

今回は寅彦が訪れた本町の「今井風山軒」を取り上げてみたい。

「本町」は言うまでもなく高知市本町のこと。『高知城下町読本-改訂版』（高知市・平成 16 年）によると「城下町が建設されたとき、最初にできた城下経営の基本となる町筋であったことに由来する町名」とある。



写真 1) 現在の本町（東から西を望む）

その本町の今井風山軒。「母上ノ写真ヲ取り帰り…」、「写真ヲ更ニ五枚注文シ…」という記述から写真屋さんであると思われるが、もう少し情報はないだろうか。手がかりを求めて『高知県人名事典 新版』（高知新聞社・1999 年）を調べてみると、「いまい さだきち 今井 貞吉（1831-1903） 博物家、小銭研究・収集家、実業家号、風山・風山軒。」という記述を見つけた。解説を読み進めていくと「16 年高知市本町 4 丁目に今

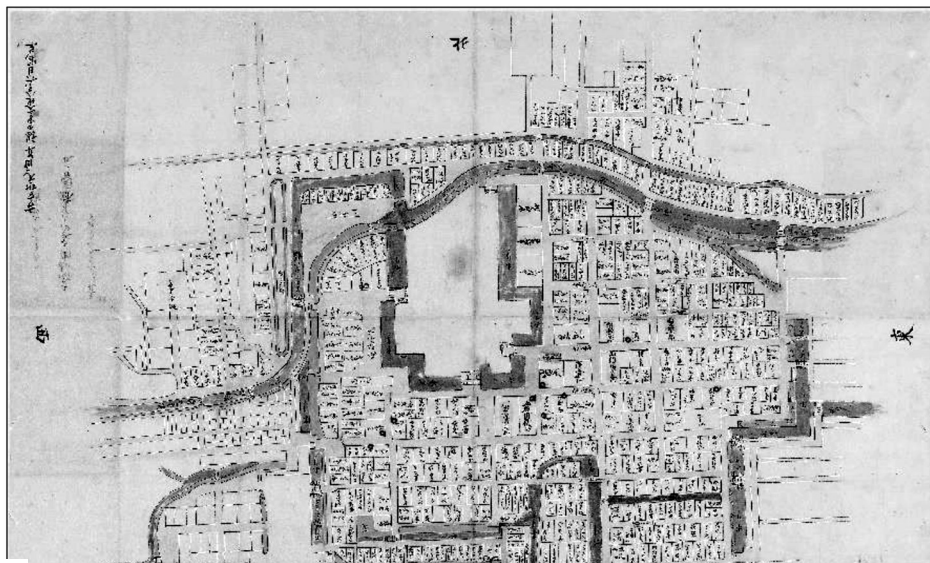


図 1) 享和元年高知御家中鹿図  
（安芸市立歴史民俗資料館所蔵）

井写真館を開業、長男・栄に継がす。」ともある。「16 年」は明治 16 年のこと。

「本町」、「今井」、「風山軒」、「写真」というキーワード、さらに時代的にも合致するので、この日寅彦の訪れた「今井風山軒」又は「今井」は明治 16 年に今井貞吉が本町 4 丁目に開業

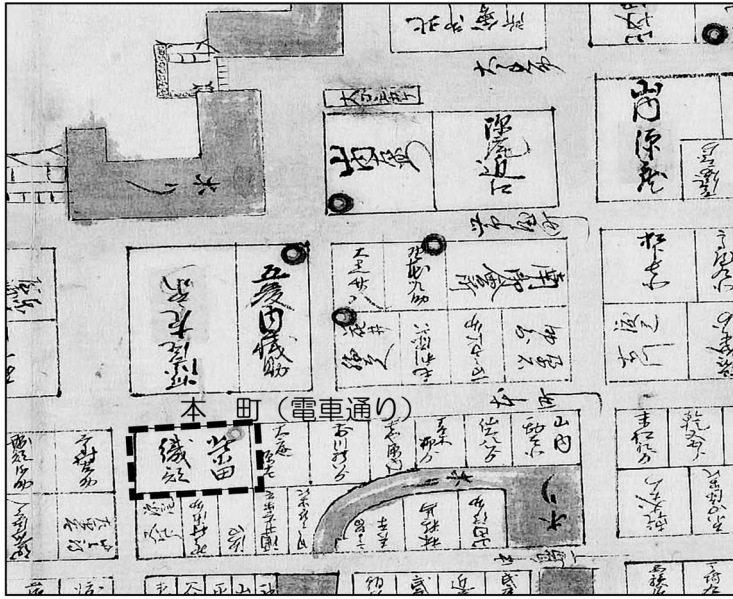


図2) 破線部が家老柴田織部邸

に写真店、時計店などの洋物店を開かせている。」

さて本町4丁目にあった今井写真館。間宮尚子著『今井貞吉』(高知市民図書館・平成21年)には貞吉の生涯とともに写真館についても詳細が記されている。その記述の中に「貞吉は高知市本町の元家老柴田邸址に広大な住居を構え、ここで長男には写真業を(略)営ませた。」とある(注:下線筆者)。その「家老柴田邸」を捜すために享和元(1801)年の「高知御家中匱図」(安芸市立歴史民俗資料館所蔵)をみてる(図1)。すると「柴田邸」は、現在の高知県庁前の南北の通りと東西の電車通りの交差点の南東のブロック、現在の住居表示で示すと「本町4丁目2番地」のブロック西側の一角を占めていたことが分かる(図2参照)。今井写真館はこの辺り(図2破線部)に店を構えていたのだろう。

寅彦日記の中で今井写真館(風山軒)に触れたものはこの二回しかなく、したがって寅彦が写真館の創業者・今井風山軒をどのように認識していたか定かでない。勝手な想像ではあるが、風山軒は「新知識であり、舎密学に造詣深く(前出『今井貞吉』)、「近代科学の学術面に嚆矢的役割を果たした」(前出『鏡川原ヲ歩ミテ笛ヲ聞ク』)と評されるほどの人物。寅彦もその評判や人となりを目にしたことがあったのではないか。

寅彦の訪れた今井写真館は「昭和5年に廃業し50余年の幕を閉じた」(前出『今井貞吉』)とのことである。

付記:『享和元年高知御家中匱図』の掲載について安芸市立歴史民俗資料館に許可をいただきました。記して感謝いたします。



写真2) この辺りに今井写真館はあったのだろうか

した「今井写真館」のことで間違いないだろう。

貞吉については『鏡川原ヲ歩ミテ笛ヲ聞ク』(吉村淑甫・和田書房・1998年)に簡潔に紹介されている。それによると「貞吉は堺事件の収拾に力を尽くし、また岩崎弥太郎と呼応して大阪に土佐商會を興すなど、藩政末期の財政担当者として功績が大きい。維新後は士族授産策を立て、実業面を開拓、自らは近代科学の学術面に嚆矢的役割を果たした。今井はその後、息子たち

### 【寅彦見た風景マップ】



【今井風山軒（今井写真館）のあった場所】

※地理院地図（電子国土 Web）(<https://maps.gsi.go.jp>) をもとに作成

## 平成 30 年度寺田寅彦記念館友の会 総会報告

（文責 山本 健吉）

平成 30 年度寺田寅彦記念館友の会の総会を 4 月 22 日（日）午後 1 時から寺田寅彦記念館で 24 名の参加を得て開催をすることができました。

午後 1 時からの記念講演では、昨年度台風のため中止した秋季研究会の講師劇団 the 創の代表西森良子様「なぜ寺田寅彦を上演したのか」と題してご講演をいただきました。その後、総会を開催しました。開会に際し、高知市教育長様からの祝辞をいただきましたので、ご紹介致します。

### 寺田寅彦記念館友の会総会 祝辞

平成 30 年度寺田寅彦記念館友の会総会の開催を、心からお慶び申し上げます。また、友の会の皆様方には、日ごろから寺田寅彦博士の業績を顕彰し、後世に伝える活動を続けられていることに、敬意を表しますとともに、本市の教育発展のためにご支援・ご協力をいただいておりますことに、心からお礼申し上げます。

さて、昨年 11 月になりますが、まもなく開館となります新図書館等複合施設「オーテピア」に設置される寅彦博士の銅像制作者である大野良一様から、友の会の皆様方に、寅彦博士の頭像が寄贈され、現在、寺田寅彦記念館に展示していただいております。台座の